

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	↗ 40	2	百日咳	→ 0	0
RSウイルス感染症	↗ 59	54	ヘルパンギーナ	↘ 4	10
咽頭結膜熱	↗ 39	32	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↘ 11	15
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↗ 66	54	急性出血性結膜炎	→ 0	0
感染性胃腸炎	↘ 1116	1269	流行性角結膜炎(はやり目)	↗ 17	14
水痘	↗ 96	91	細菌性髄膜炎	→ 0	0
手足口病	↗ 39	29	無菌性髄膜炎	↘ 0	2
伝染性紅斑(りんご病)	↗ 1	0	マイコプラズマ肺炎	↘ 2	4
突発性発しん	↗ 45	37	クラミジア肺炎	→ 0	0

報告が多い感染症

- 感染性胃腸炎
- 水痘
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

- 感染性胃腸炎は、報告数 1,116 件(前週報告数 1,269 件)と減少。地区別では、山鹿、有明、天草に多く報告がみられます。年齢別では、10~14歳の175件を最多に幅広い年齢層からの報告です。
- 水痘は、報告数 96 件(前週報告数 91 件)とわずかに増加。地区別では、八代、宇城、菊池に多く報告がみられます。年齢別では、2歳の23件を最多に9歳以下からの報告です。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、報告数 66 件(前週報告数 54 件)と増加。地区別では、菊池、人吉、熊本に多く報告がみられます。年齢別では、5歳の17件を最多に10~14歳以下からの報告です。

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
熊本市保健所	2	8	20	31	379	37	19		21			4		13				1
山鹿保健所	1				95	2			3				*	*				
菊池保健所		9	14	12	75	11	7		2		2	1		3				
阿蘇保健所	1			1	12	2							*	*				
御船保健所					8								*	*				
八代保健所	1	14		6	99	16			3									
水俣保健所		19			43				2				*	*				
人吉保健所				8	52	2			4			1	*	*				
有明保健所	30		5	1	160	7	3		5									
宇城保健所	3	7		1	69	11	5		4			2		1				
天草保健所	2	2		6	124	8	5	1	1		2	3						1
計	40	59	39	66	1116	96	39	1	45	0	4	11	0	17	0	0	2	0

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上
インフルエンザ	40			1	2	11	3	3	1			2	8		1	3	1	3	1		
小児科定点年齢	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上						
RSウイルス感染症	59	6	12	31	7	2		1													
咽頭結膜熱	39			8	4	3	10	6	3	2	1		2								
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	66		1	2	2	5	8	15	7	6	6	5	9								
感染性胃腸炎	1116	4	52	155	97	85	89	85	80	56	64	48	175	25	101						
水痘	96		9	22	23	16	11	6	6	1		2									
手足口病	39		4	25	7	1			1		1										
伝染性紅斑	1			1																	
突発性発しん	45	3	16	26																	
百日咳	0																				
ヘルパンギーナ	4			1	1	1					1										
流行性耳下腺炎	11				4			3		2			1	1							
眼科定点年齢区分	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上	
急性出血性結膜炎	0																				
流行性角結膜炎	17							1	1	1				1	1	4	2	2	2	4	
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上				
細菌性髄膜炎	0																				
無菌性髄膜炎	0																				
マイコプラズマ肺炎	2		1															1			
クラミジア肺炎	0																				

**大きな流行が発生
又は継続しつつある地域**

●感染性胃腸炎:熊本、山鹿、菊池、八代、水俣、人吉、有明、宇城、天草

●咽頭結膜熱 :菊池

感染性胃腸炎 警報レベル 継続中!!

今週の報告数は1,116件(前週1,269件)で、8週間ぶりに減少しました。地域別では、熊本、山鹿、菊池、八代、人吉、有明、宇城、天草に加え、新たに水俣が警報レベルを超え、阿蘇・御船を除く9地域が警報レベルにあります。症状は、発熱、下痢、吐き気、嘔吐、腹痛などがあります。子供の場合、元気がなかったり、不機嫌な状態が続く時はすぐに主治医の診察を受けてください。家庭では脱水を起こさないよう、水分補給に努めましょう。老人ホームなどの施設でノロウイルスによる感染性胃腸炎の発生が見られます。ノロウイルスは感染力が極めて強いので、医療機関や福祉施設、保育所、幼稚園、学校など集団生活の場では下記を参考に、しっかり予防に努めてください。

【ノロウイルスを予防する4つのポイント】

- ①生ものは極力避け、85℃で1分以上加熱調理しましょう。
- ②調理の前後、トイレやおむつ交換の後などは、必ずせっけんを手を洗きましょう。
- ③調理器具の使用後は、ときどき次亜塩素酸ナトリウム(塩素系漂白剤)に浸して殺菌しましょう。
- ④嘔吐物や便を処理するときは、マスクと手袋を着用し、周りを汚染させないようにしましょう。